

公安委員会定例会議(第24回)の開催状況

第1 日 時 令和7年9月17日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時2分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和7年第23回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公文書公開請求にかかる部分開示及び非公開決定

総務室から、公文書公開請求にかかる部分開示及び非公開決定について伺いがあり了承した。

(3) 安全運転管理者事業所に対する特別指導の実施結果

交通部から、安全運転管理者事業所に対する特別指導の実施結果について伺いがあり了承した。

(4) 指定自動車教習所に対する監督命令に関する報告

交通部から、指定自動車教習所に対する監督命令に関する報告について伺いがあり了承した。

(5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、10件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 初任科生支援員制度の運用開始

警務部長から、初任科生支援員制度の運用開始について報告があった。
委員から「若手職員が初任科生の支援を行う制度であるが、初めての運用であるため、支援員となる若手警察官の負担とならないよう配慮して欲しい」との発言があった。

委員から「支援員となる若手警察官にとっても様々な気付きを得ることができ、支援する側もされる側も共に成長できる好循環となるよう期待している」との発言があった。

委員から「若手職員が支援員となるため、初任科生に寄り添った対応が期待でき、とても良い制度だと思う」との発言があった。

(2) 爆発物原料取扱事業者等に対する管理者対策推進状況

警備部長から、爆発物原料取扱事業者等に対する管理者対策推進状況について報告があった。

委員から「爆発物の原料となり得る物は、我々に身近な数多くの場所で販売されており、対応に苦慮されると思うが、地道に取り組んで欲しい」との発言があった。

委員から「爆発物の原料となり得る化学物質の販売等に対する対策は非常に重要であるが、ネット販売でも入手可能な場合もあると思われ、様々な経路を予想して対処を行い、治安維持に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「爆発物原料取扱事業者に対する体験型訓練を拝見したが、臨場感があり非常に良い訓練だと感じた。学校等教育機関の管理者に対しても、原料となり得る化学物質の危険性を再認識させるような指導を実施して欲しい」との発言があった。

(3) 初任科第188期卒業式の実施等

警察学校長から、初任科第188期卒業式の実施等について報告があった。

委員から「初任科生は本課程終了後も、職場実習、初任補修科、実戦実習といった採用時教養を受けるとのことで、今後も、しっかりと人材育成に努めて欲しい」との発言があった。

委員から「それぞれの初任科生は、同期生同士、助け合いながら様々な訓練を乗り越えて来たのだと思う。今後も様々な困難があると思われるが、融和団結し、県民のために活躍する警察官になって欲しい」との発言があった。

委員から「本年8月に、今回卒業される初任科生に授業を行ったが、皆さん、やる気に満ち溢れていた。卒業して第一線に出れば様々なご苦労があると思われるが、県民が安心して生活できるよう、是非とも頑張ってもらいたい」との発言があった。

(4) 警察職員の任用

警務部から、警察職員の任用に関する報告があった。

(5) 損害賠償事案の知事専決処分

警務部から、損害賠償事案の知事専決処分に関する報告があった。

以 上